
マイナー言語の入力方針案 ～ モンゴル文字資料を一例に～

2004年10月28日

平成16年度第1回総合目録データベース実務研修

京都大学

長谷川 裕子

新潟大学

永井 登志江

大阪外国語大学

澤本 亜希

大阪大学

久保山 健

1.はじめに

平成12年にNACSIS-新CAT/ILLが多言語対応
中国簡体字などでの検索、登録が可能に

多言語入力規則の制定 (平成10年～)

(中国語、韓国・朝鮮語、アラビア語資料)

多言語未対応の言語資料の入力方針は？

モンゴル文字資料を例に入力方針を検討

2. モンゴル文字資料の現状

2.1. モンゴル文字資料の現状

モンゴル語 2種類 (キリル文字、モンゴル文字)

モンゴル文字 (ウイグル式モンゴル文字)

・表音文字

・縦書き

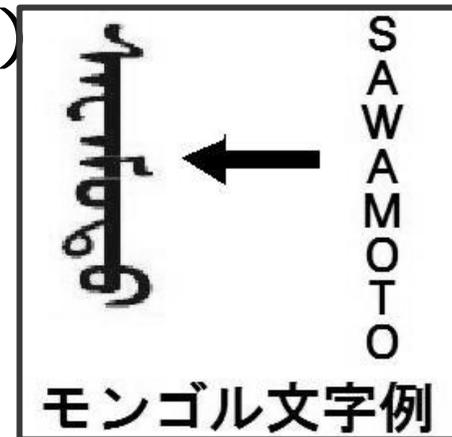
行の並びは左から右

言葉と言葉の間は分かち書き

ひとつの言葉は一本の線で繋がったように書かれる

文字は言葉の中での使用位置によって、三種類に変化

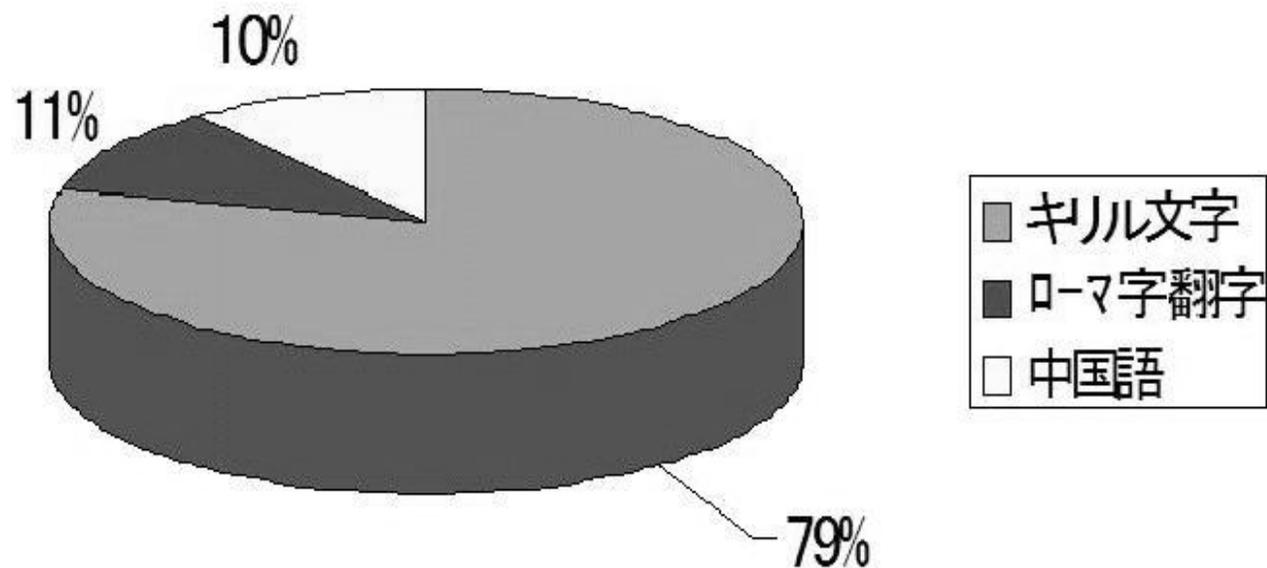
語頭形、語中形、語末形



2. モンゴル文字資料の現状

2.2.NACSI-CATにおける入力書誌情報

<モンゴル語資料:TRフィールド入力方式別内訳>
書誌レコード総数:1,548件



2. モンゴル文字資料の現状

2.3. 参考 :早稲田大学では

早稲田大学提供

早稲田大学図書館蔵

「モンゴル文文献目録データベース」

<http://www.littera.waseda.ac.jp/mongol/>

ローマ字翻字形と中国語の 2通りの方法で記載
(「タイトル」 著者 編者」 出版社」 出版地」)

3. これまでの多言語入力規則

3.1 制定経緯

(1) 中国語資料 平成10年制定

「中国語資料の取扱い(案)」 廃止

「中国語資料用コーディングマニュアル(案)」

(2) 韓国・朝鮮語資料 平成14年制定

「韓国・朝鮮語資料の取扱い」 同解説」

(3) アラビア語資料 平成14年制定

「アラビア語資料に関する取扱い及び解説」

「コーディングマニュアル

(アラビア文字資料に関する抜粋集)」

3. これまでの多言語入力規則

(1) 目録規則等

	適用範囲	適用目録規則	目録用言語
中国語	(特に 限定なし)	NCR87	日本語
韓国・ 朝鮮語	(特に 限定なし)	NCR87	日本語？
アラビア語	アラビア文字 系諸言語	AACR2	英語

(2) タイトルの記述等

	記述 文字	「ヨミ」	「その他 のヨミ」	ヨミの 分かち	翻字形
中国語	書かれ たままの 字体	カナヨミ	ピンイン (任意)	行う	
韓国・ 朝鮮語	書かれ たままの 字体	ハングル ヨミ	不使用	行う	VTに 入力可
アラビア 語	表示され たままの 字体		LC翻字 形を 記録	行う	LC翻字 形を 記録

(3)その他

	典拠の 取扱	既存デー タの取扱	暫定入力	検索時の 注意
中国語	原則として 表示の 字体	特に規定 なし	漢字を置 き換えても よい	特に記載 なし
韓国・ 朝鮮語	同上	修正可能 な参加館 が行う	不可	漢字・カナ ・翻字によ る検索
アラビア 語	LC翻字形 を標目形	修正可能 な参加館 が行う	不可	特に記載 なし

4. モンゴル文字資料の入力方針案 (1)

(1) 目録規則等

・適用範囲 **【モンゴル文字資料】**

・適用する目録規則 **【AACR 2】**

・目録用言語 **【英語】**

4. モンゴル文字資料の入力方針案 (3)

(3) その他

・典拠の取扱い

著者標目形 【典拠レコード作成時に用いた資料の字体】

ただし... 【モンゴル文字 翻字形 ヨヨは入力せず】

【漢字表記 中国語資料と同様】

標目形以外 SFに入力し検索の便宜を図る

・既存データの取扱い

【各参加館の間で必要に応じて修正】

暫定入力の可否 【不許可】

・検索時の注意点

【翻字形・漢字・カナ・ピンインなどで検索】

5. おわりに

品質管理」

- (1)レコードの精粗・統一性
 - (2)レコード維持管理における運用上の方向性
 - (3)各参加組織や目録担当者等の共通理解
 - (4)重複書誌を増加させない
-